

2011年度

科目名	倫理学B			
担当教員	池田 清			
配当	文 1・人間1		コード	23028
開期	後期	講時	火曜日3限	単位数 2
授業テーマ	人権思想 環境倫理 生命倫理			
目的と概要	「地球温暖化って何やろ」(環境倫理)、「安楽死って何やろ」(生命倫理)、「DVDコピーして、ええんやろか」(情報倫理)、これらは、身の回りで感じる疑問です。授業は、こうした疑問に関して、法律や、暗黙の了解の背後にあるルールを洗い出します。その際、基本になるのは、人権(=幸福追求権)という考え方です。「自分の幸福って何やろ」という発想をベースにして、環境倫理、生命倫理、情報倫理について自分なりの考え方をもち、授業の内容であり、目標です。			
成績評価法	出席(50%)、本試験(50%)から総合的に評価します。			
テキスト	テキストは使用しません。講義ノート中心です。			
参考書	授業中、その都度指示します。			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	倫理学の授業を有意義で面白いものにするために、気楽に、しかも積極的に授業に参加して下さい。			
講義計画				
◎倫理学は、決して堅苦しい道徳ではありません。身の回りで起きていることに対して、普段は「それ、当たり前やん」と思っていますが、「そやけど、〈当たり前〉って、何で思うたんやろ?」と自問したとき、既に倫理学の入り口に立っているのです。「何で、優先座席で、おばあちゃんに席譲らなあかんねん」、「何で、人殺したらアカンねん」など、自分が知らない内にいつの間にか心にインプットされたルール・マナー・作法などに関して、「何で?」と疑問をもち、「みんなも〈当たり前〉と思うてるんやろか」、「〈当たり前〉って思うのは、みんなにとっても〈良いこと〉何やろか」など自問するなら、倫理学に既に足を踏み入れています。				
1 環境倫理の誕生 2 preservationとconservation 3 「自然の権利」思想と動物解放論 4 ディープ・エコロジーと全体主義 5 レイチェル・カーソンと農薬問題 6 環境問題の現実 7 産廃不法投棄事件と責任問題 8 リサイクルに関する諸法の意味と限界 9 循環型社会の可能性 1 0 環境問題の思考様式功利主義とその限界 1 1 二つの自由主義 1 2 世代間倫理 1 3 民主主義と住民投票 1 4 試験対策 1 5 まとめ				